

2026年10月31日　礼拝メッセージ　菅原 亘　牧師
みことば　　：第一テモテへの手紙 4章 1節～16節。
メーンタイトル：交わりの回復　「敬虔こそ真の利益」

今秋も晩秋に入ります。木枯らし一号も吹きます。北海道では吹雪の予想。
私もアメリカフェニックスでの奉仕を終えて無事帰国しました。日本語でメッセージを語るんですがAIが英語と中国語に翻訳してスクリーンに文字化して映し出します。傍に通訳が立つことはありません。凄い時代になったものです。

1・終わりの時代の特徴
人々を縛る教えが横行します。支配的な教えは不健全。
ガラテヤ人への手紙5章1節、13節。御霊による自由こそ真の自由です。
第二テモテへの手紙3章1節～5節。

2・感謝して食べるなら捨てるべきものは何一つない
神のことばと祈りによってきよめられる。食物規定から解放された異邦人
使徒の働き15章1節～20節、28節～29節。
「偶像に捧げた食物、血、絞め殺したもの、不品行」を避ければそれでOK

3・空想話を避けなさい。（系図、無益な議論、ギリシャ神話）
第一テモテへの手紙1章3節～4節、2章15節～17節、6章20節。
第二テモテへの手紙4章4節～5節。
テトスへの手紙1章14節。
俗悪な無駄話。霊知（グノーシス主義）

4・敬虔こそ真の利益。「経験」と言う言葉が数回使われている。
敬虔とは神様との健全な個人的関係。畏れるべき方を畏れる。
第一テモテへの手紙6章5節~6節。
箴言1章7節、9章10節、
詩篇111篇10節。

5・若くても良き指導者になれる
ことば、態度、愛、信仰、純潔、信者の模範、聖書朗読教えに専念
第二テモテ2章15節~17節。

6・按手を受けた時の預言によって与えられた聖霊の賜物を軽んじてはならない
長老たちによる按手と預言について
第二テモテへの手紙1章6節。